

登録日時	2009 1/27 20:08	登録番号	010
チーム名	海拔ゼロメートル地帯防衛計画チーム		
行動主体	<p>○江戸川区 ・代 表 江戸川区長 多田正見 ・連絡先 土木部長：土屋信行、土木部計画課長：立原直正 電 話 03-5662-8384 E-mail naomasa-tachihara@city.edogawa.tokyo.jp</p> <p>○三大湾（東京湾、伊勢湾、大阪湾）沿岸のゼロメートル都市【調整中】 ○学識経験者、NPO、民間企業等【調整中】</p>		
行動内容	<p>○ 江戸川区は、江戸川・荒川の河口に位置する低平地であるとともに、地下水の汲み上げによる著しい地盤沈下により、陸域の7割がゼロメートル地帯である。 地球温暖化による気候変動に伴い、海面水位の上昇や大雨の頻度増加、台風の激化などが指摘されており、気候変動の影響を真っ先に受けるのがゼロメートル都市である。 江戸川区と同様に、約400万人が暮らす東京湾・伊勢湾・大阪湾の沿岸都市のゼロメートル都市は、洪水や高潮の危機に絶えずさらされている。 現代に生きる我々が果たす責務として、洪水や高潮の「水の脅威」に立ち向かい、後世の人々が安心して暮らすことのできる災害に強い都市を築き上げるために、気候変動に対する適応策を検討するとともに、その着実な実現に向けた取り組みを行う。</p> <p>○ 平成20年12月には、海外・国内の計11都市が参加した「海拔ゼロメートル世界都市サミット」を国土交通省等とともに開催し、気候変動への適応策を議論するとともに、ゼロメートル都市の危機的状況を全世界にアピールした。（「共同宣言」参照）</p> <p>○ これらの活動を礎にして、日本の三大湾沿岸都市の連携を図っていく。さらに、地球温暖化による海面水位の上昇、気候変動の危機にさらされている世界のゼロメートル都市の連携へと活動を広げ、問題解決に向けた世界的な行動体としていく。</p>		
課題分析	<p>○ 人口・資産が集積している東京・大阪などの大都市において、堤防決壊による壊滅的な被害を回避するため、超過洪水対策である高規格堤防（スーパー堤防）整備を着実に推進する必要がある。 しかし、多大な費用を要するとともに、沿川住民の理解と協力が不可欠であるため、整備には長い年月を要する。 そこで、事業実施のための新たな組織や体制、財政、柔軟な事業手法などを検討していく必要がある。</p> <p>○ 高潮に対する適応策の検討に不可欠な浸水シミュレーションが不十分である。</p>		
留意事項	<p>○ ゼロメートル各都市の抱えた危機を各国が国家的な危機と認識すべく、各都市が行動を起こすべきと考えている。各都市が直面している危機を国として捉えるようなアピールが必要である。</p>		